

令和4（2022）年度

事業報告書



社会福祉法人近江八幡市社会福祉協議会

## 【総括報告】

新型コロナウイルス感染症により、生活困窮や孤立など、私たちの今後の生活にも影響する大きな変化がありました。しかし、少しずつ元の生活に戻りつつあります。

コロナの生活福祉資金特例貸付では、約1,500世帯、延べ17億円を超える申請を受け付け、9月末で終了しましたが、物価高騰等も重なり、返済の猶予申請や食糧支援、教育支援資金などの生活福祉資金貸付相談も多く受け付けており、今後も継続して支えていく体制づくりが求められています。

令和4年度は、第3次地域福祉活動計画の初年度として、地域福祉推進委員会で協議を図りながら、孤立や孤独の解決につながる取り組みを進めました。

コロナ禍で地域のつながりが一層希薄になり、困りごとを抱えていても地域で孤立している現状があり、医療福祉専門職・ボランティア活動者・困りごとを抱えている家族・地域住民がつながれることをめざして、5学区で「ふくしまちづくり座談会」の開催や、ひきこもり家族同士の居場所づくりとして「ひきこもり家族教室」など、見守り支えあいネットワークの推進に加え、専門職と地域が連携できよう取り組みを進めました。今後も多様な困りごとの解決とつながりづくりに取り組み、「助ける側」「助けられる側」と分けるのではなく、お互いに支えあいのできる地域共生社会の実現に向けて、地域福祉推進基盤のあり方について検討をはかりながら一層取り組んでいく必要があります。

地域の取り組みの中で、子どもたちと地域の大人がつながる食のある居場所づくり「子ども食堂」においては、新たに4カ所が登録され、市内で14団体15カ所で取り組み、情報交換会の開催や、寄付物品の提供など継続して取り組むことができる支援を実施しました。子どもを真ん中においた地域づくりができるよう、取り組んでいきたいと考えています。

令和3年度より、委託を受けて取り組んでいる重層的支援体制整備事業移行準備事業においては、困りごとを受け止めるとともに、専門機関へのつなぎや、地域の中で受け止め解決につなぐことができる体制づくりに向けて、行政とともに取り組みを進めました。

また、災害時において、スムーズに災害ボランティアセンターを立ち上げ、円滑に支援を行うために、今年度は行政と連携し、馬淵学区を拠点に地域と一体となり「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」を実施しました。自治会域の見守り支えあい活動の日頃の取り組みが災害時の大きな備えになることを参加者とともに実感することができ、今後、全学区で体制づくりが考えていけるようつなげていきたいと感じました。

介護保険事業については、デイサービスセンターひまわりのサテライトを閉所しました。今ある姿を直視し、地域住民に信頼される社協経営をめざして、地域福祉の推進という使命を果たすため、職員研修の実施や職員提案の募集など役職員が一丸となって地域に根差した取り組みの推進に努めました。

## 【事業別報告】

# 1. おたがいを思いやるまちをめざします～人づくり～

### めざす地域1－(1)

一部の人だけではなく、みんなが関わり、ともに歩める地域にしたい

#### ①福祉活動につながる情報発信

新たな活動や関心を持つきっかけとなるよう、住民主体の地域福祉活動の様子などを見える化し、必要性や魅力を発信しました。

- 1) 広報誌の発行（全戸配布年6回）・声の広報発行（年6回）
- 2) 地域福祉活動啓発リポーターによる地域福祉活動の発信 5回
- 3) ホームページやフェイスブック、ライン等での情報発信
- 4) 社会福祉大会の開催（主催：近江八幡市・近江八幡市社協）

開催日	内容	人数
10月1日	1部 式典 表彰 2部 シンポジウム（市社会福祉大会内で開催） お互いさまの心でつながる参加と支え あいのまちづくり 講師／コーディネーター 龍谷大学短期大学部 中根真教授 パネリスト 長命寺町ささえ愛隊 河村加恵さん 市精神障がい・発達障がい当事者・家族の会 馬場 功さん 特定非営利活動法人 Since 麻生知宏さん 会場 文化会館小ホール 2部はオンライン会場設置	1部55名 2部82名 （オンライン会場含む）

#### ②地域福祉リーダーの育成

地域福祉活動の裾野を広げるために、関係機関と協働して地域福祉のリーダー養成や情報共有の場づくりを行いました。

- 1) 地域福祉リーダー養成研修（近江八幡つながり未来塾）の開催

開催日	内容	人数
7月8日	第1回 成年後見人って何？ 講師 滋賀県社会福祉士会 副会長 権利擁護担当理事 村田才司さん	81名
10月1日	第2回 お互いさまの心でつながる参加と支えあいのまちづくり シンポジウム（市社会福祉大会内で開催） 講師／コーディネーター	82名 （オンライン会場含む）

	龍谷大学短期大学部 中根真教授 パネリスト 長命寺町ささえ愛隊 河村加恵さん 市精神障がい・発達障がい当事者・家族の会 馬場 功さん 特定非営利活動法人 Since 麻生知宏さん 本会場：文化会館小ホール オンライン会場：総合福祉センターひまわり館	
3月2日	第3回 介護はじめの一步 「介護の経験をお話しします」 語り手 井上幸子さん、川村いく子さん インタビュアー 社協在宅福祉課職員	69名

2) おうみはちまん親子応援プロジェクト「ぱぴぷぺぽ」の活動支援  
 定例会への参加や支援者ミーティングを共催で開催しました。

3) 学区域生活支援グループ交流会の開催

開催日	内容	人数
2月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体の活動紹介</li> <li>・テーマ別意見交換</li> <li>○どこまで依頼に答えたらよいか</li> <li>○依頼に対する調整がうまくいかない</li> <li>○ニーズをどのようにキャッチしたらよいか</li> <li>○グループの活動が地域に知られていない</li> <li>○民生委員や自治会との連携について</li> </ul>	24名

4) 子ども食堂情報交換会の開催

開催日	内容	人数
3月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各子ども食堂の活動状況紹介</li> <li>・テーマ別意見情報交換</li> <li>○学校との連携について</li> <li>○気になる子どもへの関りについて</li> <li>○子ども食堂の未来について</li> <li>○子ども食堂の運営資金面について</li> <li>○人（スタッフ、参加者）が集まる食堂にするには</li> </ul>	24名 （子ども食堂実施団体、教育委員会、子育て支援課、支援企業、フードバンク、県社協）

5) 学区ごとの福祉協力員研修会の開催支援

学区名	実施日	研修名（対象者）
八幡学区	7月16日	八幡学区福祉協力員オリエンテーション
島学区	5月7日	島学区ふれまち協力員研修会

岡山学区	5月26日	岡山学区福祉協力員研修会
金田学区	6月4日	金田学区ふれあいのまちづくり学習会
桐原学区	5月28日	桐原学区三者合同会議
馬淵学区	5月27日	馬淵学区福祉協力員研修会
北里学区	6月28日	北里学区福祉協力員研修会
武佐学区	6月28日	武佐学区見守り支えあい推進会議
安土学区	6月11日	安土学区見守り支えあい推進会議
老蘇学区	4月22日	まち協地域福祉部会で福祉協力員の役割を説明

### ③ボランティア活動のきっかけづくり（活動支援）

「私にできることで、地域のために何かしたい」という思いがボランティア活動への参加につながるよう、ボランティアセンターを運営し、ボランティア活動のはじめの一步を応援しました。

#### 1) ボランティアセンター運営に関する協議の場づくり

開催日	内容	人数
第1回 6月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次地域福祉活動計画について</li> <li>ボランティアセンターの成り立ちと現状について</li> <li>ボランティア活動におけるアンケート調査について</li> </ul>	13名
第2回 10月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアセンターのあり方について (ボランティア室の使用、ボランティア登録等)</li> </ul>	10名
第3回 1月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアセンターのあり方について (ボランティア室の使用、ボランティア登録等)</li> <li>令和5年度ボランティア講座について</li> </ul>	11名

#### 2) 活動に関する活動・相談・組織化・コーディネート・情報提供等の支援

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録受付	個人 20名 団体 165件	個人 11名 団体 143件	個人 25名 団体 135件
相談受付・ 情報提供	1,332件	1,024件	933件

相談内容	出前ボランティア派遣	問合せ (講座・イベント)	問合せ (ボランティア活動情報)	ボランティア室の確保	ボランティア募集	ボランティア 交流会・ボラ ンティア講座	運営委員会
件数	37	110	119	60	45	186	96

ボランティア保険	助成金	活動場所	ボランティアG・団体の運営	イベント等の打ち合わせ協力	活動先の紹介	その他	総計
278	70	38	64	52	105	72	1,332

### 3) 活動者同士の知識や経験の交流の場づくり

- ・ボランティア交流会の開催

開催日	内容	人数
11月15日	活動紹介 おもちゃ病院おうみはちまん みんなの居場所岡山水荃食堂 おうみはちまん親子応援団「ぱぴぷぺぽ」 交流タイム ファシリテーター 田口真太郎さん	38団体 53名

### 4) 活動や社会参加のきっかけとなる学びの場づくり

- ・令和4年度福祉ボランティア講座

「身近な福祉を知って感じてそして話し合おう！」実参加人数38名

開催日	内容	人数
第1回 7月18日	「外国人も日本人もともに生きる社会をめざそう」 ～あなたの隣の外国人ってどんな人？～ ワールドアミーゴクラブ 代表 吉積尚子さん 公益財団法人近江八幡市国際交流協会 中江保子さん 体験：やさしい日本語	13名
第2回 7月21日	「子どもの貧困を考えよう」～誰もが誰かの力になれる～ 一般社団法人 Atlas 代表理事 日野貴博さん ワークショップ	23名
第3回 7月30日	「手話で仲間になろう」～活動紹介と体験～ 近江八幡市手話サークル連絡協議会 浜田久美子さん 近江八幡市聴覚障害者福祉協会 会長 小林誠さん NPO 法人しが盲ろう者友の会 岡本長忠さん 要約筆記サークルすいごう 安田善男さん 他団体メンバー、支援者のみなさん	14名
第4回 8月6日	「受講生同士で交流しよう」 福祉ボランティアとは 近江八幡市社会福祉協議会職員 不登校支援と私の思い NPO 法人 Since 門脇真斗さん グループワーク	9名

### 5) ボランティア保険の手続き

加入実績	活動保険	行事用保険	福祉総合保障	送迎サービス保障
令和4年度	2,374名	154件	4件	8件
令和3年度	2,358名	150件	5件	8件
令和2年度	2,329名	88件	6件	10件

### めざす地域1-(2)

違いを認め合い、「おたがいさんを次の世代に伝え、「助けて」と言える地域にしたい

## ①地域共生社会の実現に向けた福祉教育、啓発活動の実施

「おたがいさん」の地域づくりに向けて、助け合いの必要性を学び、自分のできることを考える機会づくりに取り組みました。

### 1) 学校や地域の福祉団体と連携した福祉教育の推進

	小学校	中学校	高等学校	その他
令和4年度	6校 8件	0校	2校4件	2件
令和3年度	5校 7件	0校	1校2件	0件
令和2年度	4校10件	0校	1校2件	0件

### 2) 地域共生社会に向けた福祉モデル校指定（赤い羽根共同募金事業）

つながりのある地域づくりを目的に、学校ごとに福祉教育推進委員会を開催いただき、学校、地域、福祉専門職が連携し、子どもたちの学びの機会づくり取り組みました。（2年継続事業）

モデル事業年数	学校名
2年目	金田小学校
1年目	岡山小学校 ・ 老蘇小学校

### 3) 赤十字奉仕団による福祉学級の開催支援

2分団で実施

## 2. 参加とつながりによる支えあいのまちづくりをめざ

### します ～つながりづくり～

#### めざす地域2－（1）

思いを語りながら、誰もが自由に集まり、学べる場がある地域にしたい

### ①協議・協働のための話し合いの場づくり

地域の福祉課題共有のための話し合いの場づくりを行いました。地域住民だけでは、解決が困難な課題の解決に向けて福祉専門職や企業、NPO、行政を交えた協働のための話し合いの場づくりとして、学区域で「ふくしでまちづくり座談会」を開催しました。

#### 1) ふくしでまちづくり座談会の開催

福祉施設や相談支援機関等の専門職や企業、ボランティア団体、困りごとを抱えている人や家族、地域住民の出会いの場づくりとして5学区で開催。

開催日	内容	人数
9月9日	武佐学区ふくしでまちづくり座談会	15名
11月24日	老蘇学区ふくしでまちづくり座談会	21名
11月25日	北里学区ふくしでまちづくり座談会	29名
12月10日	島学区ふくしでまちづくり座談会	35名
1月28日	桐原学区ふくしでまちづくり座談会	39名

2) 学区見守り支えあい推進委員会の開催（協働のための体制強化）  
学区社協と連携し、9学区で20回開催しました。

3) 地域福祉推進委員会の開催（市域）

開催日	内容	参加者
6月24日	第1回 災害ボランティアセンターの体制づくり意見交換 ※災害ボランティアセンター運営連絡協議会との 合同開催（委員15名）	18名
9月30日	第2回 困難を抱える子どもへのかかわりについて考える 話題提供：子ども若者総合相談について 不登校支援の現状と課題 意見交換	17名
12月8日	第3回 第3次地域福祉活動計画の進捗状況について 意見交換	14名

## ②行政・関係機関との連携

行政の地域福祉計画と連携するとともに、企業、関係機関、団体等との連携強化に取り組みました。

- 1) 企業・市民活動団体との福祉課題解決のためのネットワークづくり
- 2) 企業等との連携による困りごとの早期発見活動の推進（見守りあい協定締結等）
- 3) 福祉団体助成の実施 8団体に助成
- 4) 団体事務局の受託（市民児協・市赤十字奉仕団）
- 5) 地域福祉推進事務局会議の開催（行政との情報共有）

## ③身近な地域で子どもから大人までつながれる居場所づくりの推進

子どもから大人までが気軽に立ち寄れる居場所づくりを推進しました。

- 1) 身近な地域の居場所づくりの立ち上げ・運営支援（自治会単位・学区単位）  
ふれあいサロン活動の推進

学区	八幡	島	岡山	金田	桐原	馬淵	北里	武佐	安土	老蘇	計
個所数	20	9	10	15	22	13	7	7	26	5	134
回数	69	57	388	198	799	146	116	45	313	40	2, 171

2) 子どもの居場所づくり(子ども食堂・学びの広場)の活動支援(立ち上げ支援、継続支援)

近江八幡市内の子ども食堂14団体15カ所

令和4年度は、4団体の新規登録があり、立ち上げなどを支援しました。

子ども食堂名	開催場所
むさっ子食堂	武佐コミセン
はちまん子ども食堂	八幡コミセン
きりっ子食堂(桐原小、桐原東小)	桐原コミセン 桐原東小
スエばあちゃん食堂	正明寺門徒会館
ほのちゃん食堂	社会福祉法人ほのほの会 多目的スペース有楽庵
かんちゃんの小さな家ホットルーム	かんちゃんの小さな家、 安土コミセン
みんなの食堂「おほりばた」	おほりばた(孫平治町)
子ども食堂「蜜柑の木」	ひまわり館、西の湖自然ふれあい施設
おいでえ～な食堂	旧八幡教育集会所
みんなの居場所岡山水茎食堂	岡山コミセン
おむすび食堂	老蘇コミセン
みんなの〇〇café・〇〇ひろば	〇〇café:共生センター 〇〇ひろば:ひまわり館
れんがのおうち子ども食堂	代表者宅(出町)
地域子ども食堂野間亭	しみんふくし滋賀本部事務局 (野間清六郎)

3) 地域子育て支援拠点事業(あいあいの家)の実施(市委託事業)

就学前の子と保護者が参加できる場づくりを実施しました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催日数	142日	140日	122日
延べ参加者	2,384名	2,109名	2,042名

4) レクリエーション備品の貸出

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
件数	50件	25件	30件

一人ひとりができることを活かして、喜びやつながりが実感できる地域にしたい

### ①身近な地域の見守り支えあい活動の推進

地域で支援を必要とする人の困りごとを早くに発見し、支援につなげるため、日ごろから気になる人とのつながりを持ち、見守りができるよう自治会単位の見守り支えあい活動の組織化活動支援を行いました。また、多様な方を見守りにつながるよう状況把握と啓発を行いました。

- 1) 自治会単位の見守り支えあい活動の推進（新規支援・継続支援）  
見守り支えあい活動数 75自治会（内新規 新規立ち上げ6）
- 2) 学区域見守り支えあい推進会議の開催  
7学区 9回実施

#### 3) 福祉協力員、民生委員児童委員の活動支援

◇学区社協別福祉協力員数 <<合計 300名>>

学区	八幡	島	岡山	金田	桐原	馬淵	北里	武佐	安土	老蘇
人数	57	10	30	32	32	25	25	24	54	11

#### 4) 自治会福祉の継続支援の実施（自治会ふくしファイルの配布等）

福祉の相談窓口の情報提供および自治会の福祉活動継続を目的に前自治会長に「自治会ふくしファイル」を配布

#### 5) 見守り支えあい活動マップの作成

困った時に助けてと言える地域づくりを目的に、令和5年3月に市内全戸配布を実施。

#### 6) 移動外出支援車両（ささえあい号）貸出事業

3団体 延べ17回

### ②困りごとを抱えた方同士が安心して過ごせる居場所づくり

暮らしづらさを抱えた人が、同じ悩みを持っている人同士で交流し、ほっとできる居場所づくりを推進しました。ひきこもり家族教室を新規事業として実施しました。

- 1) 暮らしづらさを抱えた方の中間的な居場所づくり（赤い羽根共同募金事業）  
地域でのつながりを失い孤立状態にある人や、ひきこもりの人等が社会と接点を持つ最初の一步として、暮らしづらさを抱えた人の居場所づくり事業『ねこの手』を実施。

中間的居場所づくり「ねこの手」	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施回数	49回	43回	39回
延べ利用者数	565名	153名	275名
延べボランティア数	238名	204名	145名
自宅等での延べ利用者数	—	1名	9名

## 2) ひきこもり家族教室の開催

実施日	内容	参加者
7月11日	オリエンテーション	4名
10月17日	アイスブレイク	3名
1月13日	家族交流	4名

3) 学区域で介護者や障がいのある方等同士等が交流できる場づくりの推進  
地域相談力はぐくみモデル事業において取り組みを募集 実績なし

## 3. 安心して暮らせるまちをめざします～基盤づくり～

### めざす地域3-(1)

**困った時に身近に相談できる人がいて、必要な人に支援が届く地域にしたい**

### ①つながりから困りごとを受け止め、スムーズに専門職につなげる仕組みづくり

民生委員・児童委員等と連携して、困りごとの早期発見及び身近な地域の相談の受け皿をつくるとともに、市社協の相談業務を通じて、寄り添い、必要に応じて関係機関につなぐ支援を行いました。重層的支援体制整備事業移行準備事業の委託を受け、困りごとを受け止め支援につなぐ体制強化に取り組みました。

#### 1) 心配ごと相談事業の実施（平日の偶数日）

相談実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
心配ごと相談	46件（118日）	59件（102日）	45件（121日）

#### 2) 学区域の相談拠点づくり（地域相談力はぐくみ事業）

相談の体制づくりに学区域で活動する4団体に助成した。

活動内容	取り組み実績
定期的に困りごとを相談できる場づくり「ふれあい相談事業」	・武佐学区社協 ふれあい相談事業つながりほっと年間6回開催 相談1件
福祉の困りごとを受け止	・生活支援グループさぽーとむさの輪

め解決に向けて支援する体制づくり「たすけあいサポートセンターの体制づくり」	相談6件 支援4件 情報共有会議3回 ・くらし応援団おたがいさん岡山 情報共有会議5回 ・安土学区生活支援グループ「ともに」 相談6件 支援26件 情報共有会議12回
---------------------------------------	---

その他、地域での以下の2学区で相談活動を実施されました。

桐原学区心配ごと相談（桐原学区民児協）

老蘇学区憩いのサロン（老蘇学区民児協）

### 3) 地域相談員研修会の開催

地域相談力の強化をめざして研修会を開催しました。

	開催日・内容
第1回	開催日：令和4年8月3日 講演：相談を聴くことの基本 講師：おうみ犯罪被害防止ネットワーク 松村ひとみさん 参加者：48名（心配ごと相談員、民生委員児童委員、傾聴ボランティア、生活支援グループサポーター）
第2回	開催日：令和5年1月21日 講演：聴くが効く～自己覚知と自己開示～ 講師：龍谷大学社会学部 扇田宗親さん 参加者：36名（心配ごと相談員、民生委員児童委員、傾聴ボランティア、生活支援グループサポーター）

### 4) 福祉の困りごと相談（常設）および社協内部の部門間連携の強化

#### 5) 生活困窮世帯支援事業（食糧等支援）

一時的に残金や食糧がなく生活にお困りの方に対して、世帯人数に応じて食糧をお渡ししています。財源は、共同募金助成金によるものと、市民のみなさまからお米や食糧品のご寄付によるものです。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
食糧支援	48世帯	65世帯	94世帯
日用品支援	25世帯	25世帯	—

### 6) 生活福祉資金貸付事務（市小口資金補助業務を含む）

#### 生活福祉資金の貸付業務

滋賀県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業の相談窓口として、相談支援活動を通して貸付事業を実施しました。

貸付手続きだけでなく、近江八幡市の困窮者自立相談支援事業と連携し、申し込み相談の内容からその世帯の抱えている問題点を把握し、他の福祉サービスに繋げることができ

ました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規貸付件数	200件 (教育費9件、福祉費9件、※コロナ貸付182件)	1,404件 (教育費4件、福祉費4件、※コロナ貸付1,396件)	2,712件 (教育費2件、福祉費3件、※コロナ貸付2,707件)

※特例貸付 182件内訳 緊急小口資金 86世帯、総合支援資金 96世帯  
特例貸付は、9月末で受付が終了しました。

#### 小口生活資金貸付事業

生活保護適用までの方やすでに生活保護を受給されている方を対象に近江八幡市の補助事業として小口生活資金貸付事業を実施しました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸し付け件数	6件	15件	14件

#### 7) 就労準備支援事業(市委託事業)

生活困窮者自立支援法に基づき、自立支援相談窓口(市福祉政策課)で相談を受け、就労に向けて、支援が必要とされた人を対象に、地域活動や就労体験をしながら就職準備のため支援活動を行い、有償ボランティアや就労につなげることができた。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実利用者数	5名	4名	5名
居場所・地域活動支援	40件	23件	33件
職場体験支援	50件	52件	95件
就労体験新規受入先訪問	3件	4件	12件

#### 8) 地域福祉権利擁護事業の実施

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方が、安心して地域で生活ができるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類預かり等を行う事業を実施しました。行政や地域の包括支援センター、障がい者支援センターからの相談から契約にいたるケースが多くありました。また、成年後見制度の利用がふさわしい方には、積極的に成年後見人に引き継ぐということを見込みながら支援しました。

	認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他
相談援助件数	947件	1,496件	1,681件	40件
新規契約件数	2件	7件	1件	0件
年度契約件数	17件	30件	29件	0件

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
契約件数	76件	78件	82件

#### 10) 重層的支援体制整備事業移行準備事業(市委託事業)

部署を超えて、共通の相談受付用紙を作成し、どこに相談してよいか分からな

い相談を受け止め、必要に応じて関係機関等につなぎました。

今後も、身近な地域における相談の受け止め先の充実および、相談体制の強化をめざして取り組みます。

相談件数 延べ100件

対応内容 相談のみ終結58件 社協支援で解決1件

関係機関につないだ33件

相談継続中2件 その他4件

つなぎ先 市役所19件 地域包括支援センター9件 民生委員2件 その他7件

11) 民生委員児童委員等との連携強化 市民児協会長会での情報共有等

### めざす地域3-(2)

**暮らしを支えるコミュニティ基盤が持続できる地域にしたい。**

#### ①見守り支えあいネットワークの推進

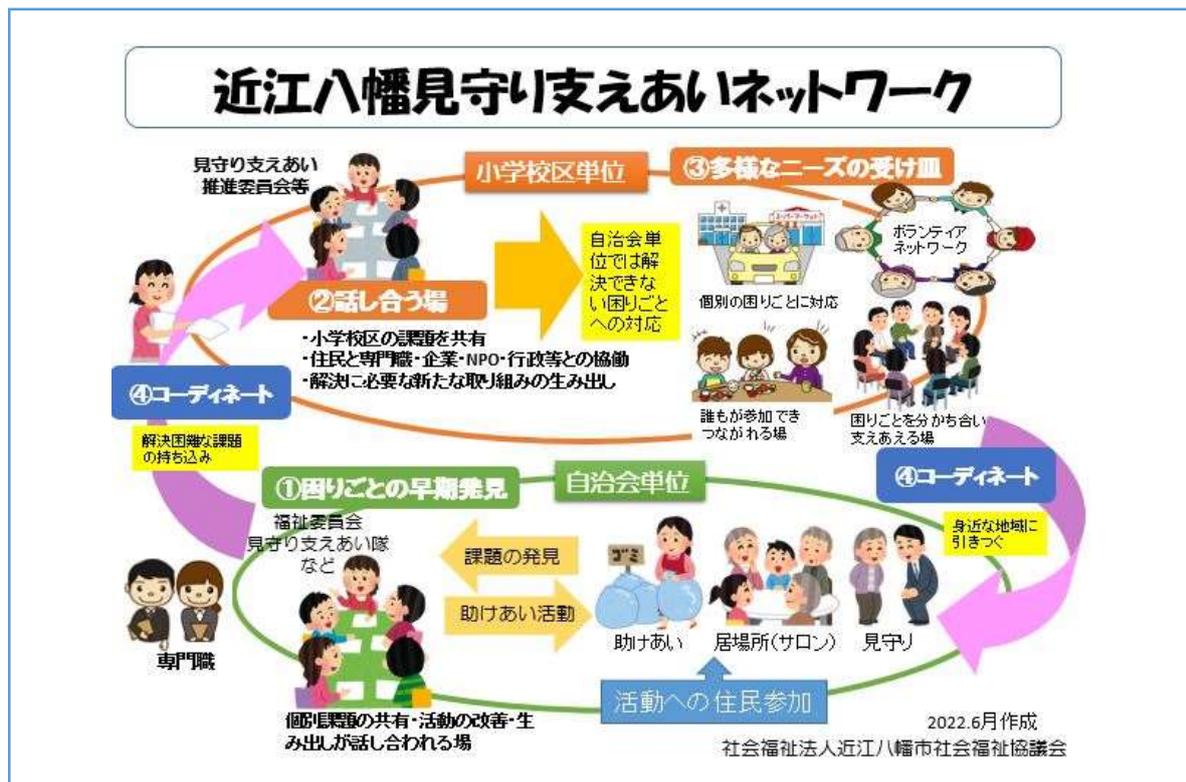
困っている人に早くに気づき、住民主体で気になる人の発見や支援につなげる取り組みを進めていけるよう、見守り支えあいネットワークを推進しました。

1) 見守り支えあいネットワークの推進のためのアクションプランの作成と周知  
アクションプランを策定し、行政、関係機関と連携し、活動推進を図りました。

【第3次地域福祉活動計画3か年アクションプラン】

- ①自治会単位の見守り支えあい推進組織 72⇒85
- ②多様な見守り対象世帯の把握（自治会単位） 0⇒30
- ③医療福祉関係者との連携（学区単位） 0⇒6
- ④学区たすけあいサポートセンター 3⇒8

※数値目標 2021年⇒2024年（3年後の達成目標）



- 2) 学区たすけあいサポートセンター（学区単位的生活支援活動）の体制づくり  
自治会単位では対応できない、困りごとの解決に向けて、自治会単位の見守り支えあい活動と連携した、学区域の生活支援活動の継続や新規立ち上げ支援を行いました。新たに金田学区における立ち上げ支援を行いました。

グループ名	対象地区
生活支援グループ さぽーとむさの輪	武佐学区
くらし応援団 おたがいさん岡山	岡山学区
安土学区生活支援グループ「ともに」	安土学区
生活支援グループ島「どないしてはる？」	島学区
金田学区困りごとお助け隊	金田学区

## ②複雑多様化する福祉課題に対する地域コミュニティの基盤づくり

福祉課題の解決は、まちづくり全体の課題であるため、福祉課題解決に向けて対応できる地域福祉推進の基盤のあり方検討会の開催、学区ごとの計画づくりを推進しました。

### 1) 学区社協の活動支援・基盤強化

#### 学区社会福祉協議会会長会の開催

学区社協間の情報交換や連携を行っていくため、学区社協会長会を開催しました。

開催日	協議事項
4月26日	第1回 福祉協力員研修会、地域福祉推進基盤のあり方、災害ボランティアセンターの体制づくり
7月12日	第2回 身近な生活の困りごと相談への対応について意見交換 ※地域福祉推進員、学区社協事務局担当者合同会議
9月16日	第3回 見守り支えあい活動の推進状況、ふくしでまちづくり座談会について
2月17日	第4回 地域福祉活動計画の推進状況、これからの地域福祉推進基盤のあり方検討会経過報告

#### 地域福祉推進員活動の支援

地域福祉推進員は、各学区社協に1～2名設置し、学区社協会長とともに学区社協事業の企画や運営を行っていただくことを目的に設置するものです。

学区ごとの、福祉活動の推進において、地域福祉推進員と情報共有を図りながら、取り組みを進めました。今後も、地域の福祉課題に対応した学区社協活動の強化を図るため地域福祉推進員の情報交換および情報共有のための会議の開催が必要です。

#### 学区社協交流会の開催

学区社協活動の基盤強化を目的に、今後の学区社協活動を考えるきっかけづくりとして、

交流会を開催しました。感染症対策のため2回に分けて実施しました。

開催日	内容等
11月10日	内容：高島市における地域を基盤とした包括体制と朽木住民福祉協議会の取り組みについて学習および交流 参加者：計42名（午前・午後の2回開催）

### 3) これからの地域福祉推進基盤のあり方の検討

複雑多様化する福祉課題の解決に向けて、地域福祉推進の現状と課題を話し合い将来に向けてどう取り組むべきか検討を開始しました。次年度に方向性をまとめ学区ごとの協議につなげていきます。

開催日	内容等
11月11日	地域福祉推進基盤の現状と課題について
1月20日	前回の振り返りおよび論点整理
3月24日	前回の振り返り ゲストスピーカーと意見交換 秋村加代子さん (手をつなぐ育成会／おうみはちまん親子応援団ぱびぷぺぽ) 髙本拓哉さん (NPO 法人ヒューマン人権ネットワーク八幡) 横川明子さん (老蘇学区まちづくり協議会)

### 4) 学区ごとの福祉計画策定支援

第3次馬淵学区地域福祉計画の策定を支援しました。

### 5) 地域福祉活動推進強化のための助成事業の実施

学区社協助成：10学区社協

子ども食堂ネットワーク助成：5団体

地域共生型広域居場所づくり活動助成 4団体

#### 【地域福祉活動に関する相談件数】

地域福祉活動を推進する中で、見守り支えあい活動や学区社協活動において多くの相談があり、地域みなさんと共に活動推進にあたりました。

〈地域福祉活動に関する相談：相談内容の内訳〉

相談内容	学区社協活動	ふれあいサロン	見守り支えあい	助成金	居場所づくり	組織運営に関する 委員会・協議会	子ども食堂	共同募金
相談件数	637	153	453	178	169	199	274	100

生活相談	福祉教育	災害	福祉講演会 ・研修	食糧・物資 支援の	多機関との 連携愛岐	その他	総計
165	123	136	130	110	95	193	3, 115

《令和3年度1, 296件》

### ③災害支援の仕組みづくり

災害に備えて、ICT を活用した災害時の迅速な情報共有ができる災害ボランティアセンターの体制づくりに向けて、ZOOM やフェイスブックを活用した訓練を実施しました。また、日頃から気になる人を把握し、身近な地域の福祉活動と防災活動ができるよう取り組みを進めました。

#### 1) 災害ボランティアセンターの運営連絡協議会の開催

日時	内容
6月24日	学習会「日常と災害時はつながっている」 講師：ローカリズム・ラボ 代表 井岡仁志さん 情報交換会 ※地域福祉推進委員会との合同開催
11月9日	【11/23 災害ボランティアセンター設置運営訓練説明会】 訓練当日の全体説明や各班に分かれての打ち合わせを実施し、役割分担や班ごとの動きを確認。

#### 2) 災害ボランティアセンター運営訓練の実施（本部・サテライト）

日時	内容
8月28日	市防災総合訓練における災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施 職員3名参加 行政等との連携を中心に、本部の情報発信および情報収集訓練を行いました。
11月23日	災害ボランティアセンター設置運営訓練 会場 馬淵コミュニティセンター 【本部運営訓練】 活動方針の決定、市災害対策本部との連携、体制図の作成、情報発信訓練、蓄電池の動作確認 【サテライト運営訓練】 ボランティア受付、オリエンテーション、ニーズ受付、マッチング、資機材・車両 【コミュニティマッチング訓練】 地域アセスメントシート作成（事前作成）、まち歩き&地域アセスメント、情報整理（ボランティア活動の優先順位、ボランティア必要数の見積もり）

	<p>※東川町、千僧供町で実施</p> <p>参加者：運営連絡協議会20名（行政2名含む）、学区社協会長10名、馬淵学区災害対策本部5名、東川町おたがいさん2名、千僧供町見守り支え愛の会8名、アドバイザー：ローカリズム・ラボ井岡仁志さん、市社協12名、野洲市社協5名、高島市社協1名 計63名</p>
--	--

#### ④社会福祉協議会の基盤づくり

市社会福祉協議会の運営にかかる基盤の強化に取り組みました。

##### 1) 理事会、評議員会等

###### 【理事会】

本会の業務執行の決定・理事の職務執行の監督等のため、理事会を開催しました。

開催日	議事内容
6月13日	第1号議案 令和3年度事業報告について 第2号議案 令和3年度決算について 第3号議案 顧問の選任について 第4号議案 評議員候補者の選任について 第5号議案 令和4年度第1回評議員会の開催について 第6号議案 会長・常務理事の職務執行状況報告について
9月12日	第7号議案 会長・常務理事の職務執行状況の報告について
12月12日	第8号議案 会長・常務理事の職務執行状況の報告について
1月13日	<b>【書面決議】</b> 第9号議案 評議員候補者の選任について
3月15日	第10号議案 会長・常務理事の職務執行状況の報告について 第11号議案 令和4年度1次補正収支予算（案）について 第12号議案 令和5年度事業計画（案）について 第13号議案 令和5年度収支予算（案）について 第14号議案 役員賠償責任補償特約の加入について 第15号議案 第2回評議員会の開催について

###### 【評議員会】

本会事業の運営を監督するとともに重要事項の決定のため、評議員会を開催しました。

開催日	議事内容
6月27日	第1号議案 令和3年度事業報告について 第2号議案 令和3年度決算について
3月27日	第3号議案 第1次補正収支予算（案）について 第4号議案 令和5年度事業計画（案）について 第5号議案 令和5年度収支予算（案）について

## 【監査】

職務執行・会計の監査のため、監査を実施しました。

開催日	内容
5月31日	令和3年度の事業報告および決算の監査

顧問税理士による定期監査を毎月1回定期的に受け、会計事務の透明性、正確性を図りました。

## 【評議員選任解任委員会】

評議員の補充選任のため評議員選任解任委員会を設置しました。

開催日	内容
7月5日	評議員の選任について
2月7日	評議員の選任について

## 【顧問会】

顧問である市長、市議会議長、教育長と社協の現状と今後について意見交換を行いました。

開催日	内容
1月23日	社協の現状について

## 2) 職員研修

職員の資質向上を目的に職員研修を行いました。

開催日	研修内容
6月21日	第1回 テーマ：災害時の対応を考える 「災害時の対応を考える」 講師 地域福祉課課長補佐 八木明恵 各所属ごとにマニュアル等の確認 参加職員37名
9月14日	第2回 テーマ：接遇 「接遇マナー」講師 藤井寿美子さん 参加者職員計51名
11月22日	第3回 テーマ：福祉行政 「近江八幡市の福祉行政について」 講師 近江八幡市長 小西理さん 参加職員数36名
2月21日	第4回 テーマ：コンプライアンス 「コンプライアンス研修」 講師 (株)KOC 雨谷博貴さん 参加職員38名、参加役員1名

## 3) 情報管理（個人情報保護、情報公開）

社協の情報管理の向上をめざして、職員により情報管理委員会を新たに組織し協議を開始しました。

#### 4) 地域福祉活動の持続可能な推進のための財源確保

##### 【会費の募集】

賛助会費の募集について、役員および職員で取り組みました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般会費	7,572,260 円	7,512,980 円	7,463,060 円
賛助会費	432,500 円	438,000 円	386,500 円

##### 【善意銀行】

広報等によりご寄付の紹介を行いました。

今後使い道についても、見える化を図り、ご寄付いただけるよう努めて行きます。

##### 【近江八幡市共同募金委員会】

自治会、団体および事業所等の協力を得て実施しました。

赤い羽根共同募金運動は、「自分のまちをよくするしくみ」として、制度のすきまの課題に対応する地域福祉活動を推進する運動として、多くの地域住民の皆様にご理解とご協力をいただき取り組みを進めました。市社協への助成を通じてひきこもりがちな方の中間的な居場所づくりや生活支援活動に向けた座談会の開催や、見守り支えあい活動助成やボランティアグループ助成など自治会やボランティアグループへの助成を行い、安心して暮らせる身近な地域のセーフティネット作りに向けた新たな取り組みを支援しました。

歳末たすけあい募金の助成については、学区社会福祉協議会が実施する歳末訪問活動等に助成しました。

実績額	令和4年度	令和3年度	令和2年度
赤い羽根共同募金	5,710,865 円	5,524,445 円	5,666,424 円
歳末たすけあい募金	3,910,905 円	3,778,141 円	3,923,998 円

##### ・助成

助成においては、審査委員会を設置し、公正な助成を行っています。

##### 〔一般募金助成事業〕

高齢者福祉活動費	学区社会福祉協議会の高齢者福祉事業へ助成
福祉活動対策費	市社協活動〔広報紙、声の広報、生活困窮世帯支援、暮らしづらさを抱えた方の中間的居場所づくり、災害ボランティア体制づくり〕 地域共生型福祉教育推進校モデル事業助成〔3校〕 見守り支えあい活動助成〔自治会24団体〕 ボランティアグループ助成〔18団体〕 学区命のバトン推進助成〔申請なし〕 当事者団体活動助成〔8団体〕

〔歳末たすけあい助成事業〕

歳末助成金	各学区社会福祉協議会活動〔見守り訪問活動、配食、ふれあい交流活動等〕
-------	------------------------------------

・災害援護活動

火災見舞金：1件

5) 第3次地域福祉活動計画の進捗管理

地域福祉推進委員会の開催、アクションプランの作成

6) 地域福祉推進事務局会議の開催（行政との連携・協力体制）

7) 市社協内部の連携強化（職員連絡会議の開催等）

8) 法人の健全経営

《苦情解決の実施》

社会福祉協議会が実施するサービスの苦情解決を図るため、毎月1回職員による会議を開催し、第三者委員会に報告しました。

相談（苦情）件数および事故件数

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
福祉サービスに対する相談（苦情）	3件	6件	2件
福祉サービスにおける事故	7件	16件	12件
地域福祉活動に対する相談（苦情）	2件	0件	0件
地域福祉活動における事故	1件	0件	0件
施設管理業務に対する相談（苦情）	0件	0件	0件
施設管理における事故	0件	0件	0件
その他	0件	0件	0件
合計	13件	22件	14件

《虐待防止委員会・虐待防止に係る職員研修》

開催日	内容
6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待防止委員会</li> <li>障がい者（児）虐待の現状について 市障がい福祉課職員</li> <li>高齢者虐待の現状について 市長寿福祉課職員</li> <li>意見交換</li> </ul>
11月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待防止に係る職員研修</li> <li>「高齢者・障害者虐待防止について」</li> <li>講師：特定非営利活動法人あさがお</li> <li>大津市権利擁護サポートセンター</li> <li>大津市障害者虐待防止センター</li> <li>中原 一隆 さん</li> <li>参加者：30名（虐待防止委員、職員）</li> </ul>

## 《施設運営管理》

市総合福祉センター管理運営事業（市委託事業）

総合福祉センターの一部業務（貸館業務）の委託により実施しました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸館合計	999件	908件	852件
市関係	418（41.8%）	428（47.1%）	470.5（55.2%）
福祉団体等	503（50.4%）	421（46.3%）	310（36.4%）
社会福祉協議会	78（7.8%）	59（6.6%）	71.5（8.4%）

安土デイサービスセンター管理運営事業（下記通所介護事業、デイサービスセンターの関連による）

## 《社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ》

福祉人材育成の一環として、社会福祉士養成校より実習生を受け入れました。

計4名（中部学院大学、立命館大学、佛教大学、京都医健専門学校）

## 《その他》

- ・赤い羽根共同募金滋賀のまちを良くする仕組み助成を受け地域福祉活動の推進のためノートパソコン4台購入しました。
- ・赤い羽根共同募金災害ボランティアセンター体制整備助成を受け、発電機2台、ホワイトボード2台を購入しました。

## ⑤在宅福祉サービス等の実施

高齢者や障がい者が住みなれた地域で暮らし続けるために、それぞれの生活に寄り添った支援を行いました。

## 介護保険事業

### 【居宅介護支援事業】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
要支援	34件	52件	99件
要介護	783件	957件	1,499件
合計	817件	1,009件	1,598件

### 【通所介護事業】

- ・デイサービスセンターひまわり

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用件数	7,448件	6,541件	6,943件
合計	7,448件	6,541件	6,943件

・デイサービスセンターひまわりサテライト

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用件数	962件	3,223件	3,760件
合計	962件	3,223件	3,760件

令和4年7月末でサテライトを閉所しました。

【訪問介護事業】

・ヘルパーステーションあづち

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延べ件数	8,094件	8,099件	8,090件

障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業

【介護給付事業】

・居宅介護事業所（訪問介護）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延べ件数	1,787件	2,237件	1,775件

・ガイドヘルプひまわり（視覚障がいのある方への支援）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
居宅介護	79件	57件	83件
同行援護	137件	129件	87件
合計	216件	186件	170件

【計画相談支援事業】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
障がい児	209件	247件	263件
障がい者	744件	699件	681件
合計	953件	946件	944件

高齢者支援サービスに関する事業

【福祉輸送事業】

公共交通機関の利用困難な要介護高齢者を対象に通院の送迎を行いました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延べ件数	410件	305件	305件

【生活支援事業】

独自事業として、公的サービスでは対応できない一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、通院介助や入院時の洗濯などのサービスを実施しました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延べ件数	145件	145件	329件

### 【軽度生活支援事業】（市委託事業）

近江八幡市の委託を受け、在宅の一人暮らし高齢者等を対象に、自立した生活の継続を可能にするため、軽易な日常生活の援助を行い、要介護状態への進行を防ぐことを目的にホームヘルパーを派遣しました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延べ件数	27件	23件	0件

### 【備品貸出事業】

#### ・車椅子の貸出

他制度・他施策で貸与や支給が受けられない方を対象に短期間において車椅子の貸し出しを行いました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
件数	204件	233件	339件

## 障がい者支援事業

---

### 【手話通訳事業】

聴覚障がい者のコミュニケーション支援のため、手話通訳サービスを実施しました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
日野町	30件	32件	22件
竜王町	203件	208件	156件
合計	233件	240件	178件